

■東京シンデレラマイル（SIII）アラカルト（過去 17 年の分析）

※記録は令和 6 年 12 月 16 日時点

■2 番人気馬の 3 着内率が高い

単勝 1 番人気馬は 6 勝、2 着 2 回、3 着 1 回で、3 着内率が 52.9%、単勝 2 番人気馬は 3 勝、2 着 6 回、3 着 3 回で、3 着内率が 70.6%、単勝 3 番人気馬は 1 勝、2 着 2 回、3 着 3 回で、3 着内率が 35.3%となっている。施行回数がまだ少ないとはいえ、現在のところ単勝 1 番人気馬より単勝 2 番人気馬の方が 3 着内率は上だ。

■3 番人気以内の馬が 1～2 着を占めた例は 6 回

過去 17 回のうち 10 回は、単勝 3 番人気以内の馬が勝利を収めている。なお、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツーフイニッシュ決着は 6 回あるものの、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツースリーフィニッシュ決着はまだない。

■高齢馬の健闘が目立っている

馬齢別の勝利数を見ると、3 歳が 2 勝、4 歳が 4 勝、5 歳が 6 勝、6 歳が 3 勝、7 歳が 2 勝となっている。5 歳以上の馬が全体の 6 割以上を占めている点に注目したい。

■外国産馬は現在のところ 1 勝どまり

外国産馬の優勝例は第 4 回（平成 22 年）のザッハーメインのみである。

■騎手別の歴代最多勝記録は「4」

騎手別の勝利数を見ると、4 勝の御神本訓史騎手が単独トップ。3 勝の本橋孝太騎手が単独 2 位、2 勝の的場文男騎手、森泰斗騎手が 3 位タイとなっている。

■ 調教師別の歴代最多勝記録は「3」

調教師別の勝利数を見ると、3勝の小久保智調教師が単独トップ。2勝の出川克己調教師、藤原智行調教師が2位タイとなっている。

■ 枠番別の勝利数に大きな偏りはなし

枠番別の勝利数を見ると、7枠（4勝）が単独トップ。1枠と2枠（各3勝）が2位タイ、6枠と8枠（各2勝）が4位タイとなっている。なお、未勝利の枠番はない。また、馬番別の勝利数を見ると、2番（4勝）が単独トップ。14番（3勝）が単独2位、11番（2勝）が単独3位で、残る馬番は1勝以下となっている。ちなみに、未勝利の馬番は3番、5番、8番、10番、13番である。

<伊吹雅也>